

2023

# いまかわね

今金町農業協同組合

新春号

vol.559



～交通安全ポスターコンクール4名が入賞～

(写真左：大場常務 右：久慈校長先生)

詳細は2ページを御覧ください

## !Topics! トピックス!

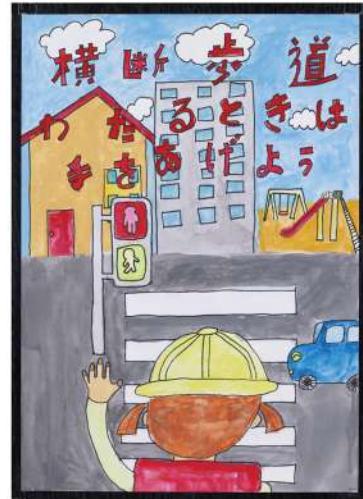
p3 新規就農者激励会を開催

p4 今金男しゃくオーナー制度活動報告

裏表紙 J A 今金町青年部 「今年の看板」



# 第49回 令和4年度JA共済全道小中学生交通安全ポスターコンクール 今金小学校より4名ご入賞おめでとうございます



J A共済連北海道では全道小・中学生の美術教育の向上をはかり、交通安全思想を幅広く社会に訴える事を目的として毎年コンクールを開催しています。4年度のコンクールでは全道138校から2,347点の応募があり63点が入賞。そのうち今金小学校の児童4名の作品が佳作として見事に入賞され、令和4年1月28日、当JAの大場常務理事より表彰状と記念品を贈呈させて頂きました。

入賞作品は令和5年2月下旬頃に、札幌市の地下歩行空間で展示予定となっています。

## J A今金町公式LINE 活用法



[manager/wp-content/uploads/2022/11/0e781b0a9a11f1d6a0a6d9def459c6ec.pdf](#)

【今月号の見どころ】

Aコープいまかねの  
営業日カレンダーも  
ご覧ください。

J Aや地域の  
ニュースを  
発信中!

こちらをクリック!

J A今金町  
YouTube  
チャンネル

チャンネル登録お待ちしております!

↑公式LINEのメニュー画面をリニューアルしました！

特に真ん中の「ニュースを発信中！」は、日々の出来事をご紹介しているのでオススメですよ♪

理事会報告

◆ 報告事項

1. 農業委員会総会報告について
2. 第一委員会の報告について
3. 組合員の加入・脱退状況について
4. 第3四半期部門別実績対比について
5. 負債整理資金（災害）の設定について
6. 内部監査報告について
7. 内部監査受託に係る報告書報告書について
8. Aコープ年末の営業時間について

◆ 議決事項

議案第1号	出資持分の譲渡について
議案第2号	令和5年度営農計画書
議案第3号	審査方針、基準について
	令和5年度営農指導基本方針について

第11回理事会（令和4年11月26日）

# 令和4年度新規就農者激励会



仁木専務から新規就農者の皆様をご紹介



小田島組合長から期待を込めたメッセージが贈されました

令和4年度新規就農者激励会対象者の皆様

**杉林由悠さん**（下白石地区）

**村上迪典さん**（神丘西部地区）

**阿部明弘さん**（田代地区）

**伊藤生吹さん**（トマンケシ地区）  
**永井沙季さん**（金原中央地区）

令和4年度新規就農者激励会が12月10日、JA今金町本事務所大会議室において執り行われました。

本年度は5名の方を新規就農の対象者として、JA役職員出席のもと開催。

主催者を代表し、小田島組合長より対象者の皆様へ期待を込めた熱い激励のメッセージが贈られ、仁木専務からは皆様の略歴などが披露されました。

J Aグループ北海道からの激励状が伝達された後は、新規就農者の皆様から就農にあたっての抱負が述べられ、会場は温かい拍手に包まれました。

地域農業を支える若い担い手の皆様の、今後益々のご活躍をご祈念申し上げます。

# 令和4年 今金男しゃく® オーナー制度 活動報告

**令和4年 今金男しゃく® オーナー制度**

●参加料 通常発送 一口 6,500円 (税込・送料込)  
通常発送 一口 7,000円 (税込・送料込)

●申込期間 令和4年3月9日～9月30日まで

●募集回数 800回

詳しくは「今金男しゃく」道民サポートスクエアのホームページを御覧ください。  
<https://www.wimakanedansyakufu.jp>

申込は  
こちら

QRコード

今金男しゃく 3kg  
特別仕様「黒箱」入り

今金男しゃくボテトチップス  
うすしお味・のり塩 各1袋

レトルトご飯「今金濃米」  
ふくわんこ・ゆめぴりか・ななつぼし  
各1個 (200g×3個)

さらに豪華なクリスマスパッケージ  
今金男しゃく黒毛和牛カレー  
合計4個 (2種類×各2個)

▲ オーナー限定の特別セットを10月にお届けしています。

## フォーラム参加者の声 (一部抜粋)

- ◆今金男しゃくを作る農家さん、農協が協力あって美味しいブランドじゃがいもを作っている事がよくわかりました。
- ◆先人や現在の皆さんの情熱が伝わってきました。国消国産いいですね。もっと知り、もっと関心をもち、食について考えていきます。
- ◆わかりやすいお話しで興味を持つ話題がたくさんあり聞けました。8月の大霖の後の様子も伺えて良かったです。
- ◆本当に美味しく頂きました。更に道産のカボチャを使ったデザート、ハスカップのラッシーと大変ごちそうさまでした。やはり道産だとなんだか安心して食べる事が出来ます。
- ◆らっきょさんの味が大好きですので、大満足です。スープカレーだからこそ、男しゃくのおいしさがよくわかりました。
- ◆今後もオーナーが参加できるようなこの催しを企画して頂けると嬉しいです。
- ◆実際にじゃがいもを作っている農家の話を聞いてみたいと思いました。じゃがいもを作るのに苦労する事など。

『今金男しゃくオーナー制度』は、今金男しゃくを中心として産地と消費者の交流を図ることで「今金ファン」を育て、産地PRを通して持続可能な地域農業を確立する一助とすべく令和3年から企画をスタートさせました。2年目を迎えた令和4年、今回は269口の申込みを頂きました。

1年目は新型コロナの影響でオーナーとの交流事業は実施できませんでしたが、本年は11月3日に札幌市“サッポロさとらんど”でオーナーの皆さんを招待し「今金男しゃくフォーラム2022」を実施。このイベントはオーナー限定で参加できるもので、当日は16組40名に参加頂きました。

フォーラムでは、JA職員からJAの役割や今金男しゃくがどのような歴史を歩んできたか、生産者やJAがどのような思いで生産しているかといった事をスライドを交えて解説し、「大雨の被害は大丈夫でしたか」「種イモと普通のイモはどう違うんですか」など、様々な質問も出されました。また、昼食では有名スープカレー店「札幌らっきょ」の井手剛オーナーシェフが腕をふるい、今金男しゃくと今金黒毛和牛を使ったスペシャルなスープカレーをオーナーの皆さんに提供しました。

今後もオーナー制度を通じて今金男しゃくを応援してくれる人たちと交流を図り、産地のファンを増やす取組みを続けて参ります。



▲ 参加いただいた皆様、らっきょのスタッフの皆様ありがとうございました。



▲ 特別メニュー今金スペシャルスープカレー



▲ 当日の様子は  
こちらから



登録者が700名を超えた「LINE」



再生数5万回を超えたWCS動画（佐藤弘一組合員出演）



JA北海道中央会インスタグラム企画  
今金男しゃくプレゼントキャンペーン  
(土橋龍二青年部長出演)

# J A 今金町 広報活動

～これまでの3年を振り返り～

ト」を導入し、既存のFAXも使用しつつ、青年層農業者から特に要望を頂いていた「農業情報伝達の電子化」を実現しました。そして「JA今金町公式LINE」を、特に町民の皆様に向けての情報発信手段として開設し、各課連携を取りながらAコープをはじめとした経済部門の情報やJA広報誌など様々な情報を総合的に発信しています。

また、「コロナ禍以前のようにイベントを実施する事が難しい状況が続いているが、それでも、町内小学6年生全員を対象とした食育料理教室や、今金ファンの創出

解してもらうことは、さらなる地域制度など、交流に主眼をおいた取り組みも実施しています。  
JA今金町の存在価値を広く理

を目的とした今金男しゃくオーナー制度など、交流に主眼をおいた取り組みも実施しています。

JA今金町の存在価値を広く理

## 【現在の広報活動概要】

### ①各媒体での情報発信

- ・広報誌、HP、SNS、新聞、JAコネクト

### ②イベントなど

- ・食育活動、今金男しゃくオーナー制度  
イベントへの出品出展

### ③その他

- ・内部広報、各課との連携、マスコミへの情報伝達、取材対応、行政との連携、  
新規開拓先の摸索（コラボ、加工品販売など）

## メディアごとの役割イメージ

狙い・効果  
組合員

- ・JAコネクトによる双方向通信  
(営農情報、各事業推進etc)
- ・LINEによる臨場感のある情報提供と事業推進  
(JA事業・組合員組織の見える化)

内部

町民・関係機関

- 狙い・効果  
・ダイレクトな情報伝達による事業の推進
- ・JA事業への理解促進  
(JA・組合員活動の見える化)

外部

一般消費者  
関係機関  
マスコミ

狙い・効果

- ・产地としての情報発信(イメージの向上)
- ・消費者との交流
- ・農産物販売

ホームページ・広報誌を柱とし、各媒体の特性を使い分けて情報発信する。

JA今金町

- 目的・伝えたいこと  
・JA各種事業の推進
- ・営農情報（組合員へ）
- ・生産部会など生産者活動のPR

ホームページ・広報誌  
オンラインストア

# 今さら聞けない100コーナー

## 『協同の精神』編

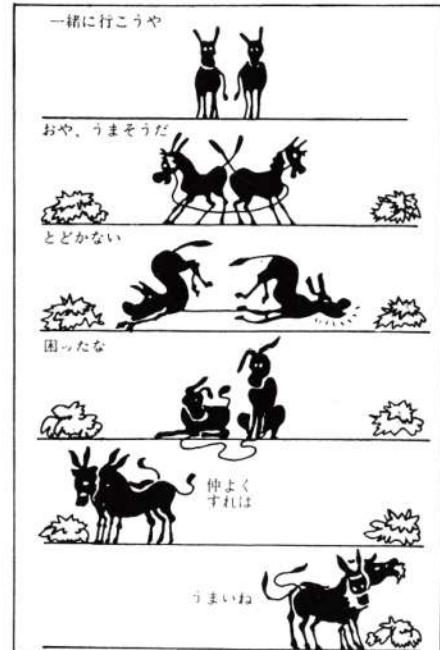
### 協同の精神とは？

「協同の精神」とは右のロバの図に表されるように、互いに協力することでより良い成果が得られるという理念の事です。

この理念は19世紀中頃に、信用協同組合の先駆者であるドイツのライファイゼン（1818年～1888年）が説いてやまなかつた「万人は一人のために、一人は万人のために」、そして農協組織の事業理念である「相互扶助」という言葉で表現されています。

### 「協同の精神」

「万人は一人のために、一人は万人のために」  
「相互扶助」



### フクロウ先生のワンポイント

ライファイゼンはドイツ出身の貧農から身を興した政治家で、様々な町村の町長・村長を歴任しました。ライファイゼンは行く先々で貧農を飢餓や貧困から守るため救済事業（パンを安く売る等）を行ったそうですが、なかなか上手く行きませんでした。

そんな中「万人は一人のために、一人は万人のために」という思いにたどり着き、ただ助けるのではなく、自助の手助けをする事に行き着きました。

そして、協会を作り必要な人にお金を安く貸し出すという現在の信用協同組合の基を作りました。日本では、二宮尊徳が作った「五常講」に代表される様な信用協同組合の基となる組織を欧州で初めて作ったライファイゼンですが、その死後100年以上経った2016年にドイツの「協同組合の理念とその実践」がユネスコの無形文化遺産に登録される等、その精神は今もドイツに息づいています。



### 日本の歴史にも息づく「協同の精神」

日本では、二宮尊徳が1819年頃に設立した「五常講」<sup>\*</sup>や、大原幽学が同時期に設立した「先祖株組合」<sup>\*</sup>があります。この2つの組織は、活動内容に違いは有りましたが、どちらも『みんなでお金を出し合い、貧しい人を手助けする』事を目的としていました。

明治に入り、品川弥次郎や平田東助など当時の政治家が二宮尊徳の事績を参考に、現在の農業協同組合の源流となる産業組合が設立されました。戦争を経て、現在の農業協同組合が設立されましたが、その根底には古くは江戸時代から続く『協同の精神』が息づいています。



「五常講」の設立者 二宮尊徳

\*五常講…二宮尊徳が設立した金融機関。無利息融資を行い、生活困窮者の生活立て直しを担う。

\*先祖株組合…大原幽学が設立した組合。組合員が所有地を提供し、そこからあがる利益を生活困窮者への貸与や、必要な機材の購入費に充てる。

# いまがね TOPICS



理事会開催前に研修を受ける理事・監事



開会の挨拶をする津村女性部長



J A今金町の広報活動について紹介する工藤企画審査課長



全道大会に結集した盟友たち

役員向け

## コンプライアンス研修会 ～不祥事発生防止に向けて～

11月26日、中央会札幌支所次長の長谷川氏を講師に招き役員向けコンプライアンス研修会を行いました。

研修会では実際の事例をもとに「問題に対応する具体的な対応不足が積み重なり不祥事に繋がった」など、役員のあるべき姿として善管注意義務と忠実義務を果たす事が非常に重要であるという事が強調されました。また、不祥事防止には役員自ら業務が円滑に行われているか確認し、職員に寄り添う姿勢を持つ重要性も紹介されました。

今後も風通しの良い職場風土作りに努め、不祥事防止に引き続き取り組んで参ります。

第58回

## 農村女性文化祭開催！

J A北海道中央会の研修会で  
J A今金町の広報活動を紹介

12月2日、JA今金町女性部が第58回農村女性文化祭を開催しました。

コロナ禍のため、演芸発表を行わないなど例年より規模を縮小

て行われた今回の文化祭では、行政書士の中谷香織さんを講師に「相続について」と題して講演が行われました。また、津村女性部長からは、道南地区を代表して全道大会でも発表した組織活動体験発表が部員の皆さんに披露されました。文化祭は年に一度の女性部全体が集うイベントです。参加者みんなの笑顔にも花が咲き、盛況のうちに文化祭が閉会しました。

## 広報担当者研修を開催!!

第71回全道JA青年部大会  
部員4名が参加

J A北海道中央会の研修会で  
JA今金町の広報活動を紹介

中央会札幌支所主催による「JA広報・発信力強化担当者研修会」が12月5日札幌市で開かれ、JA今金町が講師として出席しました。

研修会には8JA12名が参加。JA今金町からは、今金男しゃくのG-I登録をはじめとしたブランド展開や、SNSの活用、食育活動や今金男しゃくオーナー制度をはじめ各種取組について紹介。参加者からは、「JA全体で広報活動に取り組むにはどうしたら良いか」などたくさんの課題と、取組み事例が共有された研修会となりました。

今後も皆様の広報活動へのご理解ご協力を宜しくお願い申し上げます。

第71回全道JA青年部大会が12月8~9日、札幌パークホテルで開催されJA今金町青年部からは、土橋龍二青年部長をはじめ4名の部員が参加しました。この大会はコロナ禍の影響により2年ぶり実開催となり、全道各地から600名の青年部盟友が参加。「青年の主張大会」「活動実績発表」「純農Bヨガーディジョン」などが行われ、基調講演では全青年の前会長柿鳴洋一氏がJAの機能とJA青年組織について熱く語りました。本大会では農政活動やポリシー・ブックなど活動経過報告が行われ、大会宣言を採択し終了となりました。

# 『ミスターK地上波デビュー』



# 青年部 Now!!

J A 今金町青年部公式キャラクター『ミスターK』がNHK函館放送局開局90周年記念特番『ありがとう道南みんなで夢を語ろうSP』(令和4年12月11日放送)に出演し、とどう地上波デビューを果たした。

番組内では、「農業は大変で辛い産業だというイメージではなく、農業の楽しさを伝えて行きたい」と活動する理由を語る『ミスターK』。

最後に『夢』を聞かれ「今金町の農業の未来は俺たちが作る」と言い、「これからも青年部の仲間とともに今金町の農畜産物をPRしていく今金町をドンドン知つてもらい、色んな人が今金町に訪れてもらえるようにしたい」と、今後の『夢』を語った。

J A 今金町青年部はこれからも今金町の農畜産物を知つてもらうためPR活動に力を入れていく。

J A 今金町青年部公式キャラクター『ミスターK』がNHK函館放送局開局90周年記念特番『ありがとう道南みんなで夢を語ろうSP』(令和4年12月11日放送)に出演し、とどう地上波デビューを果たした。

人の食物で米より尊いものはない。だから人は、それが地上に散らばっているのを見れば、ほんの五、六粒でも惜しがる。それなのに、荒地を見ても惜しむ者がないのは何としたことだろう。これはほかでもない、太平の世になれて根本を忘れているからだ。ここに一町歩の荒地があれば、年に米十石の損になる。十石といえば二千人の一日分の食料だ。地上に散らばった米粒とは、まるで比べものにならない。それに、地上に落ちたものはすすめなどが拾つて食うが、荒地で損する米は、いわば川水に投げこむような物で、知らず知らずに人命を害すのだ。

世人は、天照大神が豊葦原を開かれた御苦労をかえりみず、祖先が田産を作り上げた辛苦も思わず、いたずらに荒れるにまかせていい。なんと大きな過ちはないか。人々がよくその過ちを改めて、わが開墾法によつて一畝一歩ずつでも開発し、つとめてその功を積み重ねて行くならば、それによつて上は国恩にむくいることができ、世に人の食料を足すことができ、下は一身一家を養うことができなのだ。どうして、つとめずにいれよう。

## 「荒地を惜しめ」

### 今月の二宮先生



（二宮先生語録より）

協同組合の先駆者である二宮尊徳が残した言葉の数々を紹介します。  
先人の言葉には時代が変わっても普遍的な学びがあるのではないでしょうか?  
皆様の心と生活がより豊かなものになるヒントになれば幸いです。



JA今金町  
農業  
青年部



※令和3年に作製した看板♪

J A 今金町青年部 「今年の看板」

# テーマ『食欲全開』

令和3年に続き今年も看板作製を行ったJA今金町青年部。今回の看板にもJA今金町青年部公式YouTube等で食と農をPRし人気を博するJA今金町青年部公式キャラクター「ミスターK」を中心とし、様々な農畜産物に囲まれ喜びに打ち震える様子を描くことで国消国産を消費者に訴えて行きたいとの思いが込められている。

J A 今金町青年部は今金町産の畜産物のPRや、農業の楽しさを伝えていくために今後もPR活動を行っていく。